



ハバロフスク支局、放送室内(岡田さん右)

# シリーズ ひと

## 日本とロシア極東の交流を 広げていきたいですね

岡田さんは、大学時代からロシアに興味を抱き、15年前からロシア国営ラジオ局に就職し特派員/通訳翻訳員/アナウンサーとして現在活躍している。

「大学時代から、ロシアの自然を見て、空気を吸って、ロシアで生きる人たちの姿を見てみたいなって素朴に思っていました。」と微笑みながら語ってくれた。

ロシアで、アナウンサーとして活躍している岡田さんだが、「入局当時は、仕事はモスクワからテレタイプでロシア語原稿が送られてきて、ニュース、論説、文化番組、音楽番組の翻訳をし、スタジオで読んでいました。慣れるまで、相当苦労しましたね。」と当時の苦労話を語ってくれた。

徐々に生活にも慣れ、余裕が出てきたころに、「黄金の虎リーグマ」という1冊の本に出会った。大自然が舞台で、

人間のしがらみとは無縁の動物と獵師の心温まる交流物語で、「日本の子どもたちにも読んで欲しいと思い、翻訳を思い立ちました。」という。

翻訳するに当たっては、動物植物が辞書に載っていないものもあり、郷土誌博物館に何度も通い、地道に調べ書き上げたという。

今後の活動について聞くと、「絵本の出版を果たし、日本とロシア極東のひとびとが仲むつまじく地道な交流をとおして、暖かい思いをお互い抱けるよう活動がしていけたらいいですね。そのような機会があれば、非力ながら協力していきたいですね。」と、優しく微笑みながら語ってくれた。

岡田さんのメールアドレスは、[okada@pop.redcom.ru](mailto:okada@pop.redcom.ru)。  
日露友の会「ヘーチカ」HPアドレスは、<http://www.03.upp.so-net.ne.jp/PECHIKA>  
04-10-29/。



おかだ かずや

### 岡田 和也さん

大学ではロシア文学を専攻。現在、ロシア国営ラジオ局(ロシアの声)ハバロフスク支局 特派員/通訳翻訳員/アナウンサーとして、日本、ロシアの両国にまたがり活躍している。児童書「黄金の虎リーグマ」(新読書社)を翻訳し、出版に協力した絵本「鹿よ おれの兄弟よ」(福音館書店)は、平成16年に小学館児童出版文化賞、平成17年に講談社出版文化賞を受賞。

## わが家のアイドル



「仲良し!三兄弟です」

秋葉 勇麻 くん【左】(8歳)  
向陽 くん【中央】(1歳)  
直樹 くん【右】(7歳)



「わが家に家族が一人増えました  
仲良くしてね」

牧野 未麗 ちゃん【右】(4歳)  
麗乃 ちゃん【左】(8か月)



「手作りケーキ、上手に出来たよ」

山崎 舞 ちゃん【右】(8歳)  
真 くん【中央】(2歳)  
拓 くん【左】(5歳)

お子さんの写真を募集しています 氏名(保護者とお子さん)・生年月日・住所・電話番号・写真にコメントを添えて、直接または、封書で郵送してください。年齢については、5月1日現在で掲載しています。

投稿先 〒349-0292 白岡町大字千駄野432

白岡町広聴広報課広聴広報係 ☎(92)1111 内線353

# シャッターチャンス!

## 全国の舞台で活躍



### 4/7 庁舎応接室

3月26日から29日にかけて静岡県掛川市で行われた「第1回都道府県対抗全国中学生女子ソフトボール大会」において、白岡コスモクラブが見事3位に受賞し、町長を表敬訪問しました。

より安全に



### 3/18 県道さいたま栗橋線

環境センター前の交差点に信号機が設置され、安全な交差点になりました。



4/16 町内全域

## 春の全国交通安全運動 交通安全車両パレード

交通安全の意識啓発を行い、交通事故の減少を図るため、ジープ・ジーピングクラブと埼玉中央チャプターの協力を得て、交通安全車両パレードが行われました。

## ベトナムで医療活動に協力

### 3/28 町長室

青年海外協力隊派遣としてベトナムへ赴任する池田さんが、出発前に濱田町長を表敬訪問しました。池田さんは2年間看護師として医療活動を行います。



いけだようこ  
池田陽子さん【左】(新白岡)

## 新図書館建設基本計画書を提出

### 4/12 町長室

昨年7月から新図書館のあり方を調査研究していた新図書館建設検討委員会の岡委員長、牛田副委員長から、「新図書館基本計画書」が濱田町長に提出されました。



# 広げよっ! 参加しよっ!

自分空間

## 白岡篆刻の会

白岡町中央公民館『篆刻講座』の受講生が講座終了後、このまま終わらせてしまうのは残念と、昨秋発足させた篆刻の同好会です。

篆刻は中国四千年の歴史ある文字芸術です。講座での講師大門憲一先生(久喜市在住)の指導のもと、月2回(第1、3金曜:午前中:約2時間)自分の名前や年賀状に使う賀詞、干支の絵などを作成してきました。篆刻の奥の深さに感動し静寂の時をたのしんでいます。

作陶された抹茶碗や作品のサインに篆刻を使う陶芸家のかたや、書道や水墨画を描かれるかたで落款印をお使いのかたなども入会されています。

篆刻に興味のあるかたで入会をご希望のかたはご連絡ください。  
連絡先 ☎(93)1159 大田峻二



白岡篆刻の会のメンバー